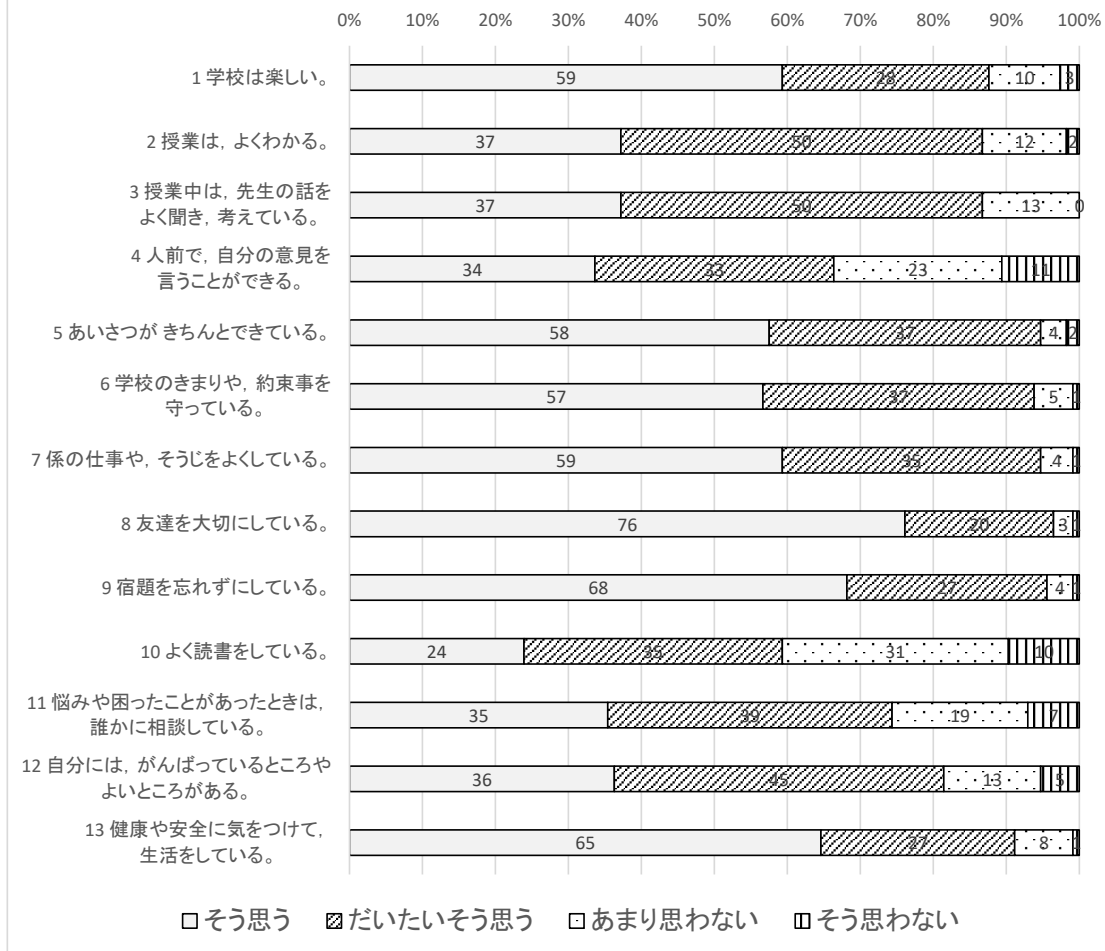


## 児童アンケート結果



### 〈考察〉

○全体的に肯定的な評価（80%以上）が10項目、課題（80%以下）が3項目ある。

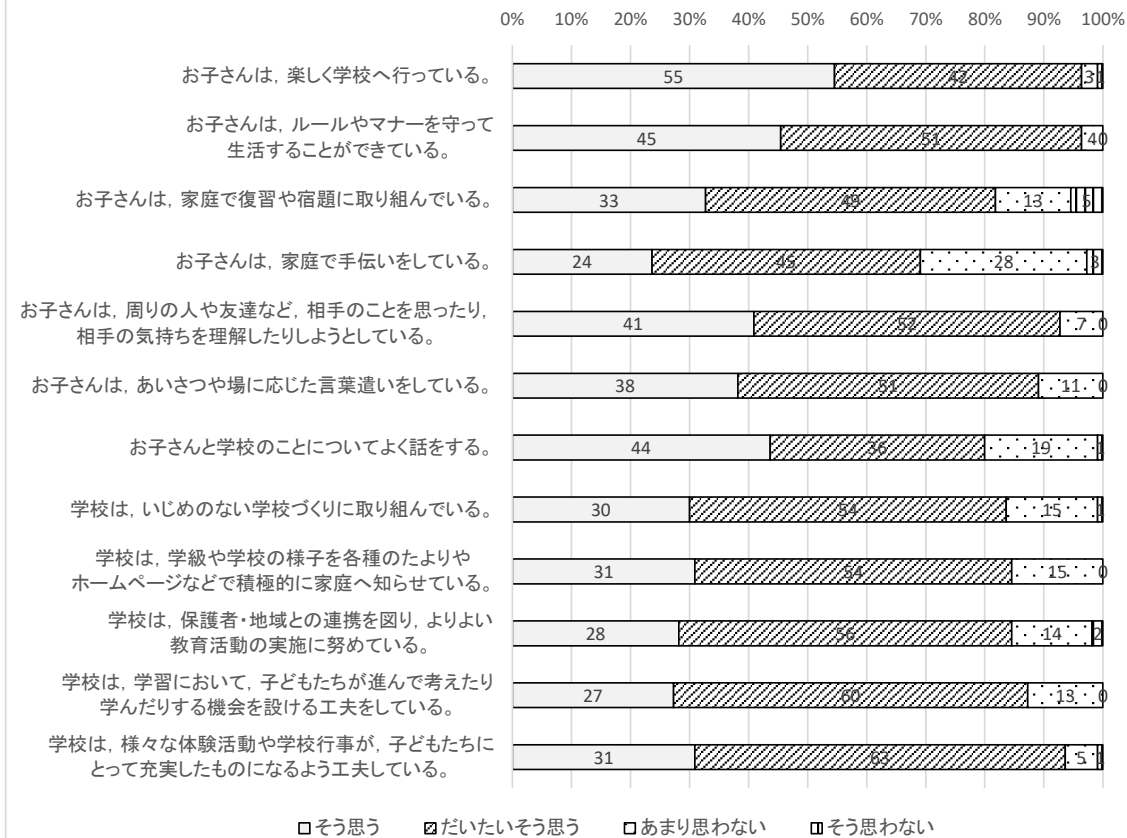
○「楽しく学校に通う」「あいさつなどの基本的な生活習慣を身につける」「学校の規則を守って、しっかりと学習する」「仲間と楽しく安全に過ごす」「係やそうじをしている」ことができている児童が多い。否定的な声にも耳を傾け、それぞれの取組の改善、強化を図る。

○質問4（67%）について、今後も一人一人が表現できる機会（ペア学習・グループ討議・タブレットをを使っての意見の交流等）を意図的に確保するなど、学習の展開を工夫していく。

○質問10（59%）について、様々な読書活動推進の取組によって、読書をよくする児童もいる一方で、あまりしない児童も一定数いる。授業と関連づけた図書室利用、読み聞かせ、多読賞表彰、ポップづくり、移動図書館の利用促進、学校図書館サポーターとの連携等の取組を改善、強化していく。

○質問11（74%）について、教育相談の充実、あたたかい人間関係づくり、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用等を今後も充実させる。

## 保護者アンケート結果



### 〈考察〉

- 全体的に肯定的な評価（80%以上）が11項目、課題（80%以下）が1項目ある。
- 「子どもが楽しく学校へ行っている」の肯定的な回答が97%である。コロナ5類移行後、少しずつ活動の制限をなくし交流を始め、工夫を凝らし、子どもたちにとって「楽しい学校」づくりをめざしてきた成果であると考えられる。行事や活動を精選し、今後も真に子どもたちにとって価値ある取組を継続させる。
- 「ルールやマナーを守って生活できている」「あいさつや場に応じた言葉遣いができる」「友達を大切にしようとする心が育っている」児童が多い。それぞれの取組のさらなる改善を行い、継続させる。
- 94%の保護者が「学校は、様々な体験活動や行事が子どもたちにとって充実したものになるよう工夫している」と回答している。コミュニティ・スクールがスタートし「地域とともにある学校」づくりのために、学校と地域がパートナーとして連携・協働しながら学びを展開していかなくてはならない。保護者・地域との連携を図り、体験活動やゲストティーチャーとの交流など特色ある教育活動の実施に努め、子どもたちの豊かな成長のために地域総掛かりの教育の実現をめざしたい。
- 「家庭での手伝い」について、学校では係の仕事や掃除等において、94%の児童が自分の責任を果たしていることから、今後家庭や社会での自分の役割や責任について考える機会を大切にしていきたい。
- 「家庭学習の充実」については、95%の児童が宿題を忘れずにしていることから、宿題にプラスして、予習復習を行うことによる学力向上を願う保護者が多いことが推測される。家庭とのさらなる連携や啓発によって家庭学習の充実に努めたい。更に、家庭での手伝いや家庭学習への声かけを会話のきっかけとして、「親子の会話」の機会が増えるように努めていきたい。